

東日本大震災から13年

2011年(平成23年)3月11日14時46分に、東北地方太平洋沖地震が発生しました。この地震による災害を、東日本大震災と呼んでいます。

本校では、朝の時間に、放送委員会が『花は咲く』の曲を流しています。1月には『幸せ運べるように』の曲を流していました。全校生で、被災地を忘れない取り組みとして、被災地に関係のある曲を子どもたちが放送しています。



東日本大震災から13年が経ちましたが、復興への道はまだまだ時間がかかります。私たちにできることは何でしょうか。

それは、東日本大震災のことを忘れない事、被災地のことを忘れない事です。そして、大震災からの教訓を私たちの生活に生かしていくことです。

お世話になった方々に、感謝の気持ちを届けましょう。

3月の全校朝会を行いました

早いもので、もう3月です。今年度の最後の月、そして、平荘小学校の最後の月です。
2月には、『立つ鳥後を濁さず』の話をしました。「立ち去る者は、見苦しくないようきれいに始末をしていくべき」という戒めのことわざです。
みなさんが育ててきた平荘小学校、そして、温かく見守り支えてくださっている地域の方々に、感謝の気持ちを持ちながら、しっかりと仕上げができるよう頑張りましょう。



『人』『もの』『時間』を大切に過ごしましょう。
これは、両荘みらい学園でも大切にされることです。(行動の三指針)

トイレの使い方や地域での過ごし方について、みんなで考えました。



今週は、『みらいウィーク』です。高学年は、50分授業もあります。時計を見て行動しましょう。

閉校事業：記念品作業を行いました

3月4日（月）から、閉校事業実行委員さんをはじめ見守り隊（学校支援ボランティア）の皆さんが学校に集まり、記念品のセッティング作業を行いました。閉校記念式典に向けて準備を進めています。心を込めた平荘小学校のオリジナル記念品です。



3月4日（月）から3月7日（木）まで、毎日、作業をしてくださいました。閉校事業実行委員の皆さん、見守り隊の皆さん、貴重なお時間を、ありがとうございました。

子どもたちが学習している同じ敷地内に、地域の皆様がいてくださるのが、とてもうれしいです。両荘みらい学園も、こんな感じなのではないでしょうか。心強いです。